



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）伊部 幸顕（TEL）03（3661）1039
 問合せ先責任者（役職名）取締役広報部長（氏名）森山 茂 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	11,700	0.8	352	105.9	457	74.6	209	18.4
22年3月期第1四半期	11,602	2.2	171	△26.9	262	△9.6	177	△19.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	5.07	—
22年3月期第1四半期	4.28	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	67,600	27,119	40.1	655.63
22年3月期	70,971	27,995	39.4	676.77

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 27,119百万円 22年3月期 27,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
23年3月期	—				
23年3月期（予想）		8.00～9.00	—	8.00～9.00	16.00～18.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	26,000	7.1	1,000	4.9	1,000	3.3	600	3.7	14.50
通期	54,000	6.4	2,600	64.1	2,500	70.4	1,500	49.7	36.26

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社（社名 ー ） 除外 ー 社（社名 ー ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	48,290,173株	22年3月期	48,290,173株
23年3月期1Q	6,926,603株	22年3月期	6,924,148株
23年3月期1Q	41,364,346株	22年3月期1Q	41,376,123株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 新薬パイプラインの状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかに景気が持ち直し、一部の企業では収益の改善が見られるものの、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費も低調なまま推移するなど、本格的な景気回復までには至りませんでした。

医療用医薬品業界におきましては、本年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品（一般用医薬品）市場におきましても、消費低迷により市場競争や価格競争が激化するなど、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結会計期間の売上高は117億円（前年同四半期比0.8%増）となりました。一方、利益につきましては、営業利益3億52百万円（前年同四半期比105.9%増）、経常利益4億57百万円（前年同四半期比74.6%増）、四半期純利益2億9百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の海外売上高比率は、13.2%（前年同四半期0.2%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

最重点領域である消化器官用薬に営業力を一層注力し市場拡大に努めてまいりました。その結果、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、海外での売上高も含め、順調に売上を拡大いたしました。しかしながら、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」、H₂受容体拮抗剤「アシノン」などの製品は、本年4月の薬価改定の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は70億15百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は9億38百万円となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「コンドロイチン群」は、テレビCMの効果等もあり売上を拡大いたしました。また、滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」につきましても、製品認知度の一層の向上に努めた結果、順調に売上を拡大いたしました。一方で、植物性便秘薬「ウィズワン群」等の一部製品は市場競争の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は46億36百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は4億78百万円となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、その他の売上高は48百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は27百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況について)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は676億円となり、前連結会計年度末対比33億70百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が232億95百万円で、前連結会計年度末対比28億66百万円の減少、固定資産が443億5百万円で、前連結会計年度末対比5億3百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少6億59百万円、受取手形及び売掛金の減少14億63百万円、商品及び製品等のたな卸資産の減少1億35百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の減少1億8百万円、無形固定資産の減少1億63百万円、投資その他の資産の減少2億31百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は404億81百万円となり、前連結会計年度末対比24億94百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が339億26百万円で、前連結会計年度末対比19億66百万円の減少、固定負債が65億55百万円で、前連結会計年度末対比5億28百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少15億51百万円、短期借入金の減少3億90百万円、未払法人税等の減少5億13百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少3億16百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は271億19百万円となり、前連結会計年度末対比8億76百万円の減少となりました。これは四半期純利益の計上2億9百万円、その他有価証券評価差額金の減少6億82百万円、前期の期末配当の実施3億30百万円等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.7%上昇し、40.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、期首残高対比6億59百万円減少し、27億82百万円となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローが13億94百万円のプラスであったものの、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローが各々10億16百万円、10億15百万円のマイナスであったためであります。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間は13億94百万円の資金の増加となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上4億9百万円、減価償却費の計上5億64百万円、売上債権の減少14億54百万円、仕入債務の減少15億48百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間は10億16百万円の資金の減少となりました。これは有形固定資産の取得による支出2億47百万円、無形固定資産の取得による支出1億31百万円、投資有価証券の取得による支出6億30百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間は10億15百万円の資金の減少となりました。これは短期借入金の減少1億57百万円、長期借入金の返済による支出5億96百万円、配当金の支払い3億6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く厳しい経営環境は今後も継続するものと考えられますが、このような中、当第1四半期の業績はほぼ当初の計画通りに推移しております。第2四半期以降も、医療用医薬品事業におきましては潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の更なる市場拡大が見込まれ、コンシューマーヘルスケア事業におきましては、主力製品である「コンドロイチン群」や滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」の売上の増加が見込まれており、現時点では平成22年5月17日発表の業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

ア. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権に係る貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③有形固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

イ. 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより営業利益及び経常利益がそれぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が64百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は71百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,914,861	3,574,449
受取手形及び売掛金	11,691,697	13,155,446
商品及び製品	3,370,303	3,552,591
仕掛品	570,989	409,792
原材料及び貯蔵品	2,132,330	2,246,915
その他	2,650,975	3,263,161
貸倒引当金	△36,071	△40,378
流動資産合計	23,295,086	26,161,978
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,213,898	6,281,481
土地	11,035,044	11,039,227
その他（純額）	3,343,455	3,380,079
有形固定資産合計	20,592,398	20,700,787
無形固定資産		
のれん	10,081,881	10,211,136
その他	1,381,341	1,415,869
無形固定資産合計	11,463,222	11,627,005
投資その他の資産		
投資有価証券	7,154,132	7,161,741
その他	5,169,715	5,394,975
貸倒引当金	△73,895	△75,111
投資その他の資産合計	12,249,952	12,481,605
固定資産合計	44,305,573	44,809,398
資産合計	67,600,659	70,971,376
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,578,240	5,129,930
短期借入金	24,315,242	24,706,028
1年内償還予定の社債	1,200,000	1,200,000
未払法人税等	237,073	750,104
賞与引当金	355,165	924,694
返品調整引当金	160,814	169,984
売上割戻引当金	221,154	227,721
その他	3,858,628	2,784,069
流動負債合計	33,926,319	35,892,532
固定負債		
社債	1,400,000	1,400,000

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
長期借入金	4,452,232	4,768,459
退職給付引当金	178,050	173,305
資産除去債務	71,295	—
その他	453,596	741,855
固定負債合計	6,555,174	7,083,620
負債合計	40,481,493	42,976,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	24,396,384	24,517,465
自己株式	△7,292,827	△7,290,512
株主資本合計	29,111,701	29,235,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,970,050	△1,287,411
繰延ヘッジ損益	△36,149	5,960
為替換算調整勘定	13,664	41,578
評価・換算差額等合計	△1,992,535	△1,239,872
純資産合計	27,119,166	27,995,224
負債純資産合計	67,600,659	70,971,376

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	11,602,267	11,700,828
売上原価	5,420,431	4,704,879
売上総利益	6,181,835	6,995,948
返品調整引当金戻入額	186,086	169,984
返品調整引当金繰入額	169,366	160,814
差引売上総利益	6,198,555	7,005,118
販売費及び一般管理費	6,027,329	6,652,608
営業利益	171,226	352,509
営業外収益		
受取利息	469	556
受取配当金	136,418	151,865
その他	24,069	37,816
営業外収益合計	160,957	190,237
営業外費用		
支払利息	56,316	68,698
その他	13,780	16,435
営業外費用合計	70,097	85,133
経常利益	262,086	457,613
特別利益		
固定資産売却益	—	15,190
投資有価証券売却益	36,756	—
受取補償金	30,987	—
貸倒引当金戻入額	3,504	1,090
特別利益合計	71,248	16,280
特別損失		
固定資産除却損	521	982
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	63,834
特別損失合計	521	64,816
税金等調整前四半期純利益	332,813	409,076
法人税等	155,595	199,229
少数株主損益調整前四半期純利益	—	209,847
四半期純利益	177,217	209,847

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	332,813	409,076
減価償却費	568,662	564,358
のれん償却額	—	129,254
受取利息及び受取配当金	△136,888	△152,421
支払利息	56,316	68,698
売上債権の増減額 (△は増加)	△315,221	1,454,950
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△279,525	119,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	△138,534	△1,548,695
その他	564,604	927,009
小計	652,227	1,971,646
利息及び配当金の受取額	137,081	145,751
利息の支払額	△61,005	△69,704
法人税等の支払額	△232,493	△653,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,809	1,394,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△229,482	△247,701
無形固定資産の取得による支出	△77,270	△131,670
投資有価証券の取得による支出	△364,559	△630,207
投資有価証券の売却及び償還による収入	322,966	—
その他	△18,343	△6,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,688	△1,016,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	792,707	△157,365
長期借入れによる収入	—	47,000
長期借入金の返済による支出	△608,770	△596,647
自己株式の取得による支出	△5,896	△2,314
配当金の支払額	△302,700	△306,164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,659	△1,015,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△22,051
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,461	△659,588
現金及び現金同等物の期首残高	2,670,679	3,442,345
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,675,140	2,782,757

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、医療用医薬品及びOTC医薬品を中心に事業活動を展開していることから、報告セグメントを「医療用医薬品事業」と「コンシューマーヘルスケア事業」にしております。

「医療用医薬品事業」では、医療用医薬品の研究、開発、製造、販売を行っております。

「コンシューマーヘルスケア事業」では、OTC医薬品、セルフメディケーションに係る健康食品、医薬部外品及び化粧品の製造、仕入、販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,015,659	4,636,873	11,652,532	48,295	11,700,828	—	11,700,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24	24	75,692	75,716	△75,716	—
計	7,015,659	4,636,897	11,652,556	123,987	11,776,544	△75,716	11,700,828
セグメント利益	938,614	478,297	1,416,911	27,300	1,444,211	△1,091,702	352,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,091,702千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	3,621,081	△4.6
コンシューマーヘルスケア事業	4,872,204	4.7
報告セグメント計	8,493,286	0.5
その他	—	—
合計	8,493,286	0.5

(注) 1. 金額は正味販売価格換算で表示しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

②受注実績

当社グループは販売計画並びに生産計画に基づいて生産を行っており、受注生産は行っておりません。

③商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	1,027,720	△53.6
コンシューマーヘルスケア事業	358,274	△10.6
報告セグメント計	1,385,994	△47.0
その他	—	—
合計	1,385,994	△47.0

(注) 1. 金額は実際仕入額で表示しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

④販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	7,015,659	1.0
コンシューマーヘルスケア事業	4,636,873	0.6
報告セグメント計	11,652,532	0.8
その他	48,295	1.1
合計	11,700,828	0.8

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成22年 8 月 6 日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-209	自社	大腸内視鏡前腸管洗浄	改良製剤	導入 ビジクリア改良製剤
申請準備中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅢ	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入
フェーズⅠ 追加試験	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病	pH依存型放出調整製剤	自社グループ オリジナル アサコール効能追加

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅡ準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド ド配合剤	導入
開発準備中	Z-521	自社	低リン血症性くる病	リン酸補充	自社オリジナル 未承認薬開発支援対象

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入 プロマック
フェーズⅢ準備中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社グループ オリジナル アサコール
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体 拮抗作用	自社オリジナル